

平成 25 年 2 月号

メンバー、ボランティア、学生
みんな仲間!

けやきと仲間 めーる



こころの病と闘っている人々と千葉大学生や周囲地域との協働の会 地域活動支援センター「けやきと仲間」

平成 25 年 2 月 1 日(第 94 号)



横断幕の制作には、書家の霊園宏さんのご協力を頂きました。

2月3日(日) ハーモニープラザにて

今回は NPO けやきと仲間の家(家族会)と地域活動支援センターが実行委員会の中心となって準備をしています。詳細は「お知らせ」をご覧ください。

悲しいお知らせ



けやき園芸の皆さま

大雪の昨日（1月14日）真夜中に日高晴子さんが亡くなられました。昨年暮れから、千葉徳洲会病院に入院中でしたが、肺の機能が急激に衰えて日付が変わる頃、帰らぬ人となられたことをご子息からの電話で知らされました。ご遺体は、生前からの希望で千葉大学に献体がなされるようで、お別れの会もないそうです。けやきの活動の歌や園芸で生きる喜びを感じていた日高晴子さんに関係者の心の中でお別れをしましょう。 合掌。

流尾

ハロー、

日高さん

あまりにも日高さんらしいというか・・・。

言葉も有りません。

毎朝、仏壇と富士山にお祈りしていますが、日高さんのご冥福もお祈りしています。

うまだ

まだ信じられませんが、色んなことから解放されて自由に羽ばたかれているように感じています。

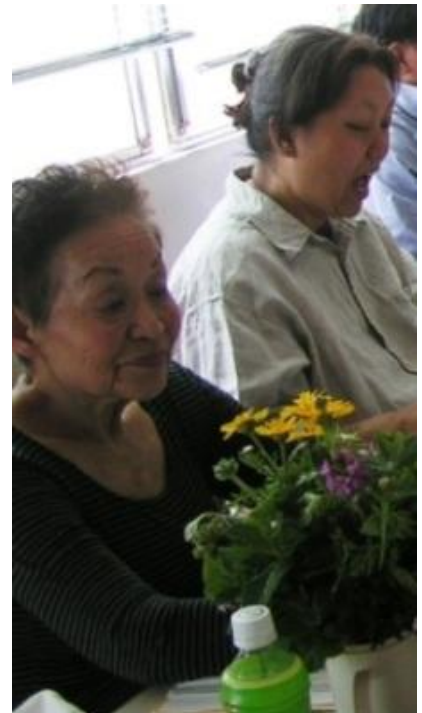
西山

日高さんが歩いてこられた日々の辛さ、悔しさ。その中から生まれた喜び、楽しみ……。

一つ一つのお話からたくさんのことを学ばせていただきました。どうもありがとうございました。

本田ともみ

日照りの日雲の上から水やりね
ユカリナの音色に今もはげまされ
忘れない共に過ごした野良仕事
自立心誰より強く生き抜いた
日高さん生意気な僕覚えてる
しあわせが家族写真でわかったよ



詩

根雪

想いの中に生まれ
想いの中に暮らし
本当は何も知らない私

私に色を下さい
蒼い空に向かって
手を差し出す

私が色を知るわけもなく
ただ雪のように
想い続ける
一本道

晴れた冬の昼間
一本道が
真ん中から日向と日陰に
分かれている

日向を歩けば暖かいし

日陰を歩けば冷たいし

いままで日陰を歩いていったんだな

作吉川博



忘年会を終えて

年末といえば忘年会ですよね！もちろん、けやきと仲間も一緒に昨年の12月26日に稲毛にあるカラオケ「JOYSOUND」で行いました。

当日の参加者は、けやきのメンバー、スタッフ及びボランティアの方々に21名になり、メニューは、ソフトドリンク飲み放題、そして季節のサラダ、鳥のから揚げ、ポテトフライ、たこ焼き、本日のスパゲッティ、本日のピザ、いちごのトルテという内容で、カラオケ5時間という長時間の忘年会でした。(けやきならではです)

最初は、理事長の乾杯の挨拶で始まり、当初5時間もカラオケだけでもつのかなと、幹事の僕は心配しましたが、1人歌いだすと皆さんが次々と曲を入れ始め、中々順番が回って来ない時間もありました。途中休憩もなく、曲を知っている人たちが歌いだし、みんなで合唱することもあり、それぞれが思い思いに時間を共有しながら忘年会が終了しました。



とても、忘れられないひと時を過ごすことが出来ました。幹事より、ありがとうございました。

K.K

千葉大学看護学部から実習生 4 名を受け入れました

実習生からの川柳

にっこりとほほえむ笑顔増やしたい
 緑色ぼくだけじゃない仲間だよ
 寒い中売れると嬉しいパン販売
 どんなときも居場所があるけやきと仲間

けやきと仲間からの川柳

底ぢから看護学部に感じたよ
 光みた実習生の視線から

